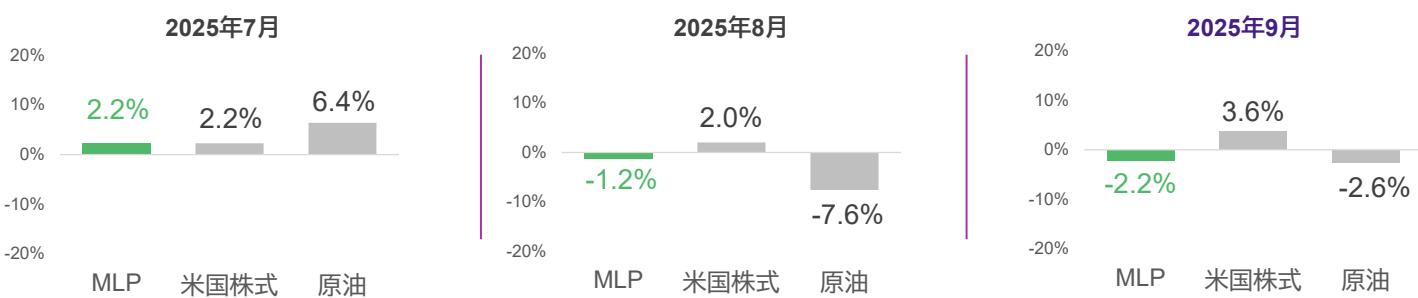


## 当月のS&amp;P MLP 指数の動き

9月のS&P MLP 指数(米ドルベース／トータルリターン)は、前月末比-2.2%と2カ月連続での下落となりました。月初は、OPEC(石油輸出国機構)と非加盟産油国からなるOPECプラスによる増産観測などを背景に原油先物が下落する中、MLPも下落基調となりました。その後、地政学リスクの高まりを受けた原油先物の反発や、米利下げ観測に伴う米国株式の上昇などを受け、MLPも上昇する場面があったものの、月末にかけては、OPECプラスによる増産が再び懸念されたことなどから、原油先物などとともに下落する展開となりました。

## 過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



MLP:S&amp;P MLP 指数、米国株式:S&amp;P 500 種指数、原油:WTI

## 主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数值	指数值	指数值	指数值	騰落率		
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	1カ月	3カ月	前年末比
<b>S&amp;P MLP 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	9,765.50	9,981.79	9,883.41	9,363.36	-2.2%	-1.2%	4.3%
プライスリターン	1,733.42	1,771.81	1,787.88	1,759.87	-2.2%	-3.0%	-1.5%
<b>S&amp;P 500種 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	14,826.80	14,304.68	13,712.71	12,911.82	3.6%	8.1%	14.8%
プライスリターン	6,688.46	6,460.26	6,204.95	5,881.63	3.5%	7.8%	13.7%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,606.65	1,613.52	1,512.64	1,501.02	-0.4%	6.2%	7.0%
プライスリターン	682.82	686.39	648.68	654.85	-0.5%	5.3%	4.3%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,912.16	1,890.75	1,824.75	1,828.72	1.1%	4.8%	4.6%
プライスリターン	358.32	356.81	345.37	353.27	0.4%	3.7%	1.4%
<b>米国ハイールド債(ICE BofA 米国ハイールド・インデックス(米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,842.20	1,828.24	1,799.02	1,720.74	0.8%	2.4%	7.1%
プライスリターン	70.58	70.43	70.07	69.26	0.2%	0.7%	1.9%
<b>米国10年国債利回り</b>							
4.15%	4.23%	4.23%	4.57%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.4%
<b>原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
62.37	64.01	65.11	71.72	-2.6%	-4.2%	-4.2%	-13.0%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
3.30	3.00	3.46	3.63	10.2%	-4.4%	-4.4%	-9.1%
<b>米ドル(対円)</b>							
147.90	147.05	144.03	157.20	0.6%	2.7%	2.7%	-5.9%

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当月の出来事いろいろ

- 3日に米国で発表された、7月の求人件数は718.1万件と、予想に反して前月から減少し、2024年9月以来の低い水準となった。米求人件数の下振れに加え、OPECプラスが7日に開く会合で原油の増産を検討すると一部で報じられたことなどから、原油先物は反落した。
- 5日に米国で発表された8月の非農業部門雇用者数は予想を大きく下回ったほか、失業率は4.3%と、2021年12月以来の高い水準となった。平均時給は伸びが鈍化した。労働市場の減速が示されたことを受け、米利下げ観測が強まり、欧米の国債利回りが低下したほか、米景気の減速懸念などから株式相場は下落した。また、原油先物が続落した。
- OPECプラスの有志国8カ国は7日、10月に原油生産量を日量13.7万バレル増やし、2026年末まで続ける予定だった自主減産を前倒して縮小することを決めた。ただし、増産は市場で織り込み済みで、かつ、そのペースが減速されることなどから、原油先物は上昇した。
- 17日、米FRB(連邦準備制度理事会)は、市場予想通り、0.25ポイントの利下げをFOMC(連邦公開市場委員会)で決定し、政策金利を4.00~4.25%とした。また、会合参加者の見通し(中央値)で示された年内の利下げ回数はあと2回(1回あたり0.25ポイントとの前提)と、従来より1回多くなった。ただし、パウエルFRB議長が会見で、今回はリスク管理のために利下げを決めたと述べたことなどから、市場では追加利下げに慎重と受け止められた。
- 24日、米エネルギー情報局が発表した週間の在庫統計で、原油在庫が市場予想以上に減少した。また、ウクライナ軍がロシアの石油関連施設を攻撃したことなどから、原油先物が大きく上昇した。

## 今後の注目点

10月から、2025年7-9月期の決算発表シーズンに入る。これに先立ち、MLP各社から発表される分配金の動向に市場の注目が集まる。

## 過去3ヶ月の原油価格の動向

原油価格は、7月初から中旬にかけてレンジ内での推移を続けていたものの、日本、EU(欧州連合)などが米国との貿易交渉で合意したほか、米国が対ロシアの制裁を強化するとの観測などから、7月末にかけて上昇し、WTI原油先物が1バレル=70米ドル台となりました。しかしながら、8月に入り、米国の主要経済指標の悪化が嫌気されたことやOPECプラスによる原油増産観測などから下落基調となりました。9月に入り、地政学リスクなどから上昇する場面も見られたものの、総じて値動きの重い展開となりました。



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

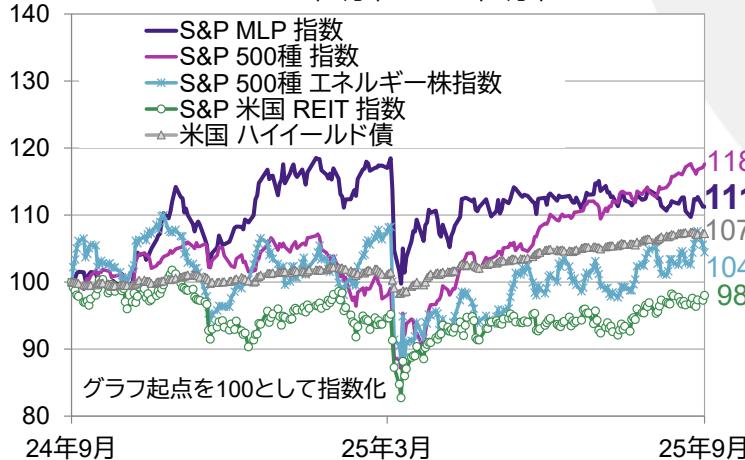
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## MLP Monthly

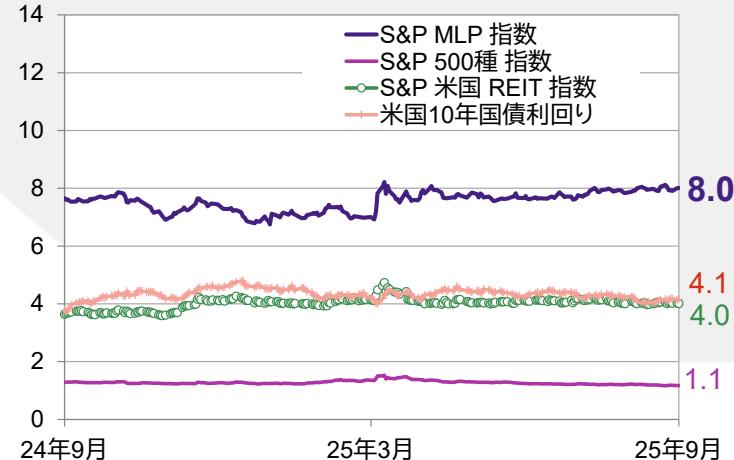
## 過去1年の指標の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2024年9月末～2025年9月末



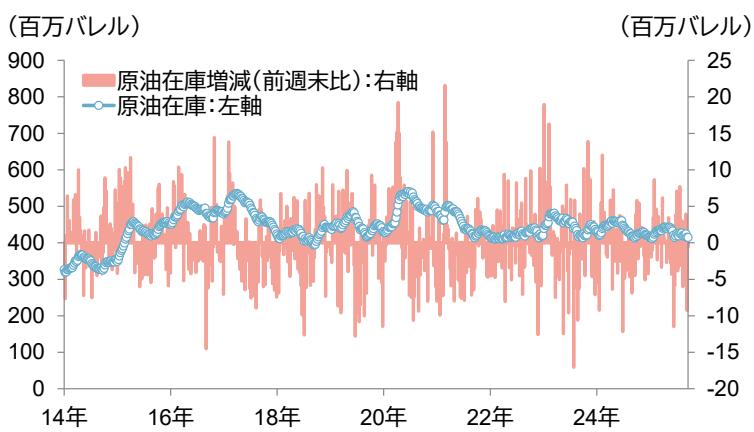
## 過去1年の各資産の利回り

2024年9月末～2025年9月末



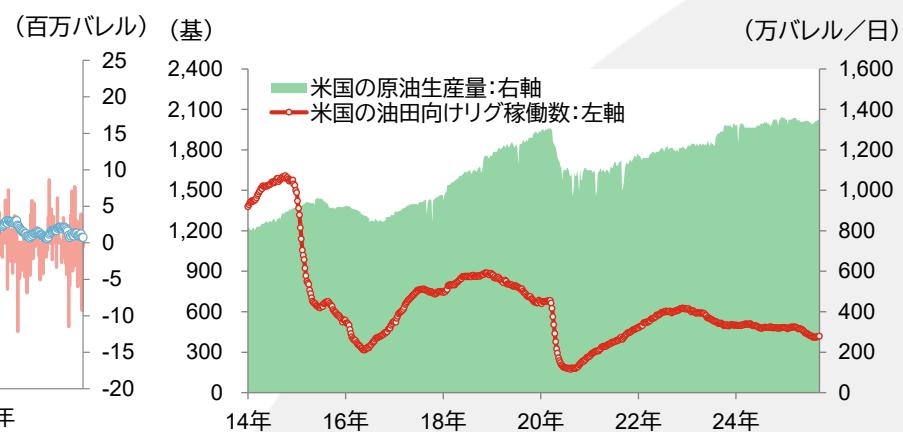
## 米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2025年9月第3週末



## 米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

2014年1月第1週末～2025年9月第3週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締まり期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締まり期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

## 原油価格と米ドル指数\*

2014年1月初～2025年9月末



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指標の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指標の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧説資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社